

分野：自然への愛着

(春の自然観察と外来植物の体験)

環境アドバイザー

荒木 三郎

対象

つばさ南小学校 3年(23人)

所要時間



2時間

場所

三つ又沼ビオトープ

実施時期

令和3年4月21日

概要

- 今年度の初めての校外学習です。春の自然観察を通じて自然の大切さが学べたらしいです。
- 先輩たちが今まで活動してきた、荒川の草花を育てようプロジェクトの場所を見て自分たちが育てた植物を植える場所を確認する。

プログラムの
ねらい

- 学校の近くに素晴らしい自然が残っている。自然観察会を通じて自然の大切さを実感できたら素晴らしいです。
- 子供たちが進んで荒川の植物を育てるプロジェクトに参加できれば良いです。
- 外来植物が身近にあることを理解していただければ良いです。

プログラムの内容

1 三つ又沼ビオトープの解説(20分)

- オリエンテーションとビオトープのお話

2 自然解説(60分)

- 緑の回廊で五感を使って鳥の声を聞く
- 絶滅危惧種のゴマギの解説、葉がゴマの香り
- 絶滅危惧種のノウルシや三つ又沼の解説
- 絶滅危惧種の沼に住んでいるドブガイを持って見る
- 埼玉県のチョウ、ミドリシジミの解説
- 湿地に住んでいるヒバカリの生体を触って見る

3 外来草本抜き(30分)

- ショカツサイ、菜の花、セリバヒエンソウなどの抜き取り、(休憩時間を含む)

4 質疑応答(10分)



受講者の反応

- 川島町にもきれいな自然が残っているのが印象的でしたの声が多かった。
- 子供たちは植物より、生き物が大好きであり、ヘビのヒバカリでは最初は尻込みしていたが全員で触って感触を確かめていました、沼のドブガイの大きさ(20cm)にはビックリでした。
- 初体験の外来草本抜きでは競争で抜いていました。時間ですよと言うと、もう時間ですかの声が多く出ていました。汗をかいての作業でした。この中で一人でもいいからボランティアが育つといいですが、楽しみです・・・。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不用



草花を植える場所の見学



外来植物（ショカツサイ他）抜きの体験